

ニューキャンパスシリーズ 34(通算 386 回)

2008 年 4 月 2 4 日(木)

領域・分野ごとの特徴と対応

セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際

ニューキャンパスシリーズ 35(通算 387 回)

2008 年 4 月 2 5 日(金)

大学・大学院の教育研究環境整備の進化

アカデミック・ハラスメント対策の本格化と導入方策

領域・分野ごとの特徴と対応

セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際

～教育実習 / 福祉実習 / セクハラと人間関係 / 対策の脆弱性 / 規程等進化へ～

- 〔中央大学〕防止啓発規程・ガイドラインの全部改正の実際～どこをいかに
- 〔教育実習〕全国調査にみる“実習セクハラ”～実態と背景 / 大学トップへの期待
- 〔最近の状況から〕セクハラ対策の脆弱性 / 事案と組織対応力
- 〔対論〕男女関係の機微～人間としてのコミュニケーション力
- 〔福祉実習〕現場の問題と背景 / 実習生にとっての実際 / 実習指導の課題

講師陣

- | |
|--------------------------------------|
| 谷 聖子 氏 / 中央大学ハラスメント防止啓発支援室室長 |
| 内海崎貴子 氏 / 川村学園女子大学准教授 |
| 戒能 民江 氏 / お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授 |
| 浅田 敏雄 氏 / 東邦大学名誉学長, NPO 生涯学習=大学人会議会長 |
| 塚本賀世子 氏 / 華道家 |
| 浅原 千里 氏 / 日本福祉大学 社会福祉実習教育研究センター助教 |

大学・大学院の教育研究環境整備の進化

アカデミック・ハラスメント対策の本格化と導入方策

～実態と裁判例 / ガイドライン・規程の点検 / 実効性と実質化～

- アカハラとコンプライアンスの関係 / アカハラの定義 / 学内相談手続と裁判手続
- 〔明星大学〕防止対策委員会の取組と課題～教授会内アカハラ研修の試行
- 〔中央大学〕ハラスメント防止啓発活動 / 申出事案の処理とその体制
- 〔東北大学〕新規規程・ガイドライン作成 / 相談と問題解決のシステム / 防止施策・活動

講師陣

- | |
|---|
| 垣内 国光 氏 / 明星大学 アカデミック・ハラスメント防止委員長、教授 |
| 若林 実 氏 / 若林法律事務所 弁護士, NPO アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH) 理事 |
| 中西 又三 氏 / 中央大学ハラスメント防止啓発運営委員会委員長、法学部教授 |
| 吉武 清實 氏 / 東北大学 高等教育開発推進センター教授、学生相談所 大学カウンセラー |

2008 年 4 月 2 4 日(木)、4 月 2 5 日(金)



時間	講 義 項 目
9:40 ~ 11:10	<p>〔中央大学〕ハラスメント防止啓発規程・ガイドラインの全部改正の実際 ~これまでの問題点・課題を踏まえて~</p> <p style="text-align: right;">中央大学 谷 聖子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セクシュアル・ハラスメント防止に関する規程の全部改正理由 2. ハラスメント防止啓発に関する規程及びガイドラインの概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) ハラスメントの定義(セクシュアル、アカデミック、パワー・ハラスメント) (2) 本学の責務、関係機関の責務、大学構成員の責務等 (3) ハラスメントの申出及び事案解決方法・手続 (4) ハラスメント防止啓発に関わる組織 3. ハラスメント防止啓発の取り組み 4. ハラスメント防止啓発及び事案対応に関する今後の課題 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
11:20 ~ 12:50	<p>教育実習におけるセクシュアル・ハラスメントの実態と今後 ~全国調査結果から防止対策の構築に向けて~</p> <p style="text-align: right;">川村学園女子大学 内海崎 貴子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習セクハラとは何か <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育実習とは何か (2) 実習セクハラの特徴と構造 (3) 大学教育と実習セクハラとの関係 2. 実習セクハラの実態とその背景 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2004年度全国調査の結果から (2) 被害事例から見た実態 (3) 実習セクハラ的背景 3. 実習セクハラ防止に向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学・教職課程に向けて (2) 実習校・教育委員会に向けて (3) 文部科学省と社会全体に向けて 4. セクハラ危機管理の重要性~大学経営トップの責務と期待 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
13:50 ~ 14:30	<p>キャンパス・セクハラ対策の脆弱性を問う ~最近の状況から/領域・分野の事案と組織対応力~</p> <p style="text-align: right;">お茶の水女子大学 戒能 民江</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セクハラ対策はもう整備されている...のか? 2. 「セクハラ」ということばを消してしまうことの怖さ 3. 最近のセクハラ事件・裁判例から 4. 法令強化後の大学の責務 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:40 ~ 15:20	<p>〔対論〕男女関係の機微と“セクハラ”の関係性 ~人間としてのコミュニケーション力とは~</p> <p style="text-align: right;">東邦大学名誉学長 浅田 敏雄 & 華道家 塚本 賀世子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物体・類としての人間とは 2. 女と男~その関係性の難しさと魅力 3. 女の言い分, 男の言い分 4. さて, セクハラ防止対策の要諦 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:30 ~ 17:00	<p>福祉系実習でのハラスメントを防止するために ~社会福祉の現場におけるハラスメント問題の背景と実習指導上の課題~</p> <p style="text-align: right;">日本福祉大学 浅原 千里</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉系実習の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社会福祉職の資格制度 (2) 実習のねらいと内容・方法 (3) 日本福祉大学における実習教育体制 2. 社会福祉現場におけるハラスメントの問題と背景 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「社会福祉の現場」とは何か (2) 利用者 - 職員間の問題 (3) 職員 - 職員間の問題 3. 実習生がかかわるハラスメントの実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 現場における問題の“映し鏡” (2) 利用者 - 実習生間の問題 (3) 職員 - 実習生間の問題 4. ハラスメント“防止”の観点から考える実習指導の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 誰のための何のための支援なのかを理解する (2) 「自己覚知」の努力と「転移・逆転移」の防止 (3) 専門職(プロ)としての信頼関係の構築と利用者理解 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

時間	講義項目
9:40 ~ 11:10	<p>〔明星大学〕アカデミックハラスメント防止対策2年の歩みと取組み ～教授会内アカハラ研修の試みと今後の課題～ 明星大学 垣内 国光</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明星大学アカハラ防止対策委員会2年間の歩み (1) 規程概要と委員会構成 (2) 主な活動内容(広報、相談、研修等) (3) 主な事例紹介 2. 教授会内アカハラ研修に取り組んで (1) 教授会内研修に取り組んだ理由 (2) 研修内容紹介 DVDとナレーション (3) 研修の結果 3. 明星大学アカハラ防止対策の課題 (1) 相談段階の事例にどこまで踏み込むか (2) 学内他機関との連携をどうとるか(教務課、学生課、学長、理事会) (3) セクハラ対策とアカハラ対策の一元的運用に向けて <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
11:20 ~ 12:50	<p>「コンプライアンス」から見た「アカデミック・ハラスメント」 ～アカハラ被害者の目線に立った規程の作成と運用について～ 弁護士 若林 実</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当職のアカハラとのかかわり 弁護士/人権問題-労働(職場)問題との関わり/NPO法人理事/面談から訴訟まで/啓発活動 2. いわゆる「コンプライアンス」について (1) コンプライアンスを守らないと、どうなるか(企業、大学) (2) アカハラとコンプライアンスの密接な関係 3. アカハラの定義 (1) なぜ、アカハラを取り上げるか 防止規程の変質-セクハラと異なり、不快感情をもっただけでは足りず、プラスアルファを要求する規程が出てきたが、コンプライアンスとの関係で、問題があるのではないか ハラスメントの被害者救済の総合的視点を欠いていないか (2) アカハラの実態 典型的な例-ビデオ上映/その他の典型的な事例紹介 (3) セクハラとの異同/パワーハラとの関係/モラハラとの関係 4. アカハラに対処するための学内手続-アカハラ・セクハラ・パワーハラ・モラハラ等、全ての人権侵害への総合的対応の必要性 (1) 相談員の役割 (2) 調査委員会のあり方(内部委員の人選と外部委員の導入) (3) 防止委員会のあり方(4) 加害者の懲戒処分手続きとの関係(いわゆる一部不再理との関係も含めて) 5. アカハラの裁判手続 (1) 裁判前の手続 面談・示談・調停 (2) 裁判における請求 損害賠償請求・謝罪文広告請求、事実の確認請求 (3) 和解(互譲)による解決 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
13:50 ~ 15:20	<p>〔中央大学〕中央大学におけるアカデミックハラスメントの防止について ～快適な教育研究環境の創出と維持のために～ 中央大学 中西 又三</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セクシュアル・ハラスメント防止啓発からハラスメント防止啓発へ (1) 2000年セクハラ防止規程の制定 (2) いくつかの困難事例・大学院学生をめぐる問題・文科省からの意見 (3) 2006年ハラスメント防止啓発新体制・規程とガイドライン 2. 対象とするハラスメントの内容と全般的な取り組み体制 (1) ハラスメントの一般的定義と典型3ハラスメント(例示) (2) 対象とする事案の組織的範囲(学校法人全機関)(3) 大学全体、教職員学生の責務、申出妨害禁止等 3. 防止啓発活動と申出事案の処理 (1) 啓発活動・・・講演会等 本質的なことでないという意見 (2) 事案処理の種類・相談、通知、調整、調停、措置勧告 (3) 事案処理手続・種類毎に。弁明は措置勧告に。 (4) いくつかの事案処理の経験・大切な意思の疎通特にアカハラ 4. 処理体制 (1) 全学で取り組み・大委員会、運営委員会・常務委員会・委員 (2) 防止啓発支援室 (3) 聞き取りは必ず複数で。方針を常務委で検討。毎週の会議 5. 今後の課題 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:30 ~ 17:00	<p>〔東北大学〕ハラスメント問題解決のための新たなガイドライン・対応システム ～教育研究ハラスメントに対応するための改善策～ 東北大学 吉武 清實</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規程・ガイドライン作成の狙い 2. アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントの定義 3. 相談と問題解決のシステム 4. 防止のための諸施策、活動 5. 今後の課題 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

[参加要領]

日時 : ニューキャンパスシリーズ 34 セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際
 2008年4月24日(木) 9:40~17:00
 会場 : 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)
 (JR「お茶の水」駅徒歩3分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1出口 徒歩3分)
 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 TEL 03(3292)3111

日時 : ニューキャンパスシリーズ 35 アカデミック・ハラスメント対策の本格化と導入方策
 2008年4月25日(金) 9:40~17:00
 会場 : 食糧会館 会議室 (東京・麹町)
 (東京メトロ有楽町線「麹町」駅1番出口 徒歩1分/半蔵門線「半蔵門」駅1番出口 徒歩3分)
 東京都千代田区麹町3-3-6 TEL 03(3222)9261

参加費 :

	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び収録カセットテープ送付)
ニューキャンパスシリーズ 34 セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際	40,000 円 (消費税込)	41,000 円(送料、消費税込)
ニューキャンパスシリーズ 35 アカデミック・ハラスメント対策の本格化と導入方策	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)

参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払い・請求後の振込みがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替 : 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp> E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ

地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2008年 月 日

■ニューキャンパスシリーズ 34 セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際

当日参加 メディア参加

■ニューキャンパスシリーズ 35 アカデミック・ハラスメント対策の本格化と導入方策

当日参加 メディア参加 (□の中に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(現金書留・郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。